

2023年5月15日（月）

PRESS RELEASE プレスリリース

ニューあそび場の創造 2023年6月「図画工作でたのしもう！」

ズガ・コーサクとクリ・エイト二人展「地下道」



〈開催概要〉

会期：2023年6月11日（日）～6月30日（金）10:00～17:30

会場：新開地アートひろば B1・ギャラリー

休館日：火曜日

入場無料

「図画工作」から“作りたい気持ち”や“創造する欲求”を見つめよう

新開地アートひろば（神戸市兵庫区、指定管理者：公益財団法人神戸市民文化振興財団、館長・大谷燮）では、2023年6月11日（日）～6月30日（金）の期間、「作る楽しさ」をテーマに創作活動の喜びを身近に感じていただく月間プログラム「図画工作でたのしもう！」の1つとして、展覧会「地下道」を開催します。

素材は段ボール！高速神戸駅に続く「地下道」を、圧倒的なスケール感で再現します

今回の展覧会では、創作活動を通して日常を遊びに変える達人、ズガ・コーサクとクリ・エイト（略してズガクリ）が、タイトルの通り、当館にほど近い高速神戸駅につながる「地下道」をモチーフにした作品を制作します。圧倒的なスケール感と、現実の風景とは異なるズガクリならではの、遊び心あふれる展示空間が、この度のリニューアルオープンで新設されたB1・ギャラリーに出現します。

ぜひお楽しみください。

主催・お問い合わせ 新開地アートひろば [指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団]

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL：078-512-5500 FAX：078-512-5356（担当：岡村・野澤）

ズガ・コーサクとクリ・エイト

ズガ・コーサク（岸川のぞむ）大阪市在住、クリ・エイト（岡本和喜）西宮市在住。

2009年より、「ズガ・コーサクとクリ・エイト（略してズガクリ）」として活動開始。段ボールなどの廃材を用いて“どこかで見たことがある風景”を制作する。近年の主な展覧会に、2020年「非常口」（Space31、神戸）、「バス停」（city gallery 2320、神戸）、2021年「デコトラ」（鞆の浦 de ART、福山）、「ゴミステーション」（スペース〇〇、尼崎）、2022年「SARUYAMA」（MOCA HISHIO ANNEX、小豆島）、「ボイラー室」（みかのはら〜と、木津川）などがある。<https://sadaharuhorio.net/zugakuri.html>

出展作家コメント

こんにちは、ズガ・コーサクとクリ・エイトです。略して“ズガクリ”です。
 段ボールなどの廃材を使って、どこかで見たことがある風景を作っています。
 今回の展示場所は、もともと映画を上映するシアターだったそうです。
 シアターだけあってズガクリ史上一番広いのではと思います。しかも地下。
 さて、この場所をどう展示しようか…
 新開地には、以前岸川（ズガ・コーサク）と岡本（クリ・エイト）が通っていた銅版画工房があります。インクで真っ黒になった手と油臭い服で、よくこの辺りの地下街を歩いていました。
 巨大餃子の店、ピロシキ屋、古本屋、卓球場などがあり、臭くて汚い恰好をしていても全く気にせず楽しめる場所でした。今回は、そのような馴染みのある場所を題材にして創ってみました。

【参考】過去作品



「ゴミステーション」（2021年）



「デコトラ」（2021年）



「文化住宅」（2018年）

主催・お問い合わせ 新開地アートひろば [指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団]

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL：078-512-5500 FAX：078-512-5356（担当：岡村・野澤）

ニューあそび場の創造 2023年6月「図画工作で楽しもう！」

だれもが幼少期に親しむ図画工作は、文字通り図や絵を描き、何かを工夫して創作することです。小学校の学習指導要領には、図画工作の科目目標として「表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。」(文部科学省 小学校学習指導要領 教科目標より引用)と記載されています。このように図画工作は、鑑賞や創作によって豊かな感性を育むことが可能であると考えられています。

今回は、大人になっても引き続き「作りたい気持ち」や「創造する欲求」を大切にして表現活動を行うアーティストを招聘し、幅広い世代が鑑賞・参加できる展覧会とワークショップを開催します。鑑賞と創作体験、アーティストとの交流を通して、子どもたちは豊かな感性を育み、大人たちは創作の喜びや楽しさを再確認できる機会になることを目指します。

【同時開催】かいて・つくって・ワークショップひろば

「作る楽しさ」をテーマにした図画工作ワークショップを多数開催します。講師には、身近な題材や馴染み深い素材を用いて制作を行う多彩なアーティストたちを迎えます。家に帰ってからも実践できる内容ですので、ご家庭でも引き続き創作を楽しんでいただけます。子どもも大人も、ぜひご体験ください。親子参加も大歓迎！

会場：1F・1room もしくは てててパーク

日程：2023年6月11日(日)しまんと新聞ばっぐをつくろう！

講師：しおざきふみか(しまんと新聞ばっぐインストラクター)

17日(土)えんぴつで野菜を描く

講師：神崎奈津子(グラフィックデザイナー)

18日(日)出張おかんアート大学「タオル犬をつくろう」

講師：下町レトロに首っ丈の会

24日(土)立体イラストハウスをつくろう！

講師：はらっぱ garden* (イラスト作家)

25日(日)神戸タータンで折る！おりがみのお店

講師：城戸桃代(KOBE あじさい講座折紙講師)

※その他、新開地アートひろばシルクスクリーン工房による「シルクスクリーン印刷体験」を不定期開催

自主事業年間プログラム「ニューあそび場の創造」とは…

新開地アートひろばを『あそび場』として捉え、毎月多彩なジャンルのアーティストと協働して「あそべる作品」や「あそべる空間」を創造するシリーズ企画です。複合文化施設の特徴を活かし、様々な形の「あそび」をアーティストと共に創造し、館内の様々な場所を使って「あそび」を通じて文化芸術に触れることが出来る催しを展開していきます。

主催・お問い合わせ 新開地アートひろば [指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団]

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL：078-512-5500 FAX：078-512-5356 (担当：岡村・野澤)